

学会企画シンポジウム 6

大学における外国人留学生の「学力」をめぐる課題

——教育心理学の視点から——

企画・司会 : 鈴木雅之 (横浜国立大学)

企画・指定討論 : 宮本友弘 (東北大学)

話題提供 : 立脇洋介 # (九州大学)

留学生の多様な教育経験をどう評価するか？

話題提供 : 寺尾尚大 (大学入試センター)

渡日を必要としない留学生選抜での学力担保を支えるコンピュータ試験の実行可能性

話題提供 : 中村かおり # (拓殖大学)

外国人留学生の大学学修参加を支える複合的な能力

——言語能力・学修スキル・学修様式への適応——

企画趣旨：

近年、日本の大学では外国人留学生の受入れ拡大が進められる中、彼らに求められる「学力」をどのように捉え、測定・評価し、入学後の学修へと接続させるかが重要な課題となっている。本シンポジウムでは、①多様な教育的・文化的背景のもとで形成されてきた学力の捉え方(特定の教科・科目に依存した知識や思考力等として捉えるのか、より広く学習を支える能力として捉えるのか等)、②入学者選抜における測定・評価の在り方(渡日を要さないオンライン試験の実行可能性、出願書類の評価における異なる尺度で実施された結果の比較可能性等)、③入学後の学修との関係(授業の使用言語に関わる語学力、専門内容の理解や学修様式への適応等)という3つの観点を設定する。これら3つの観点から、外国人留学生の「学力」をめぐる具体的な課題を整理し、教育心理学の立場から、どのような支援ができるのかを探る。